

## インドネシア語の所有・存在表現

降幡 正志

## 1. はじめに

インドネシア語の所有表現には、いくつかの手段がある。まずひとつは「所有する」という動詞を用いる方法である。所有に関連する語として *punya*「所有する」、*milik*「所有(物)」があり、これらに接辞を付した *mempunyai* や *memiliki* が他動詞として存在し、フォーマルな文体で用いられるのに対し、*punya* 自体は会話で非常によく用いられる。

一方、名詞に接頭辞 *ber-* を付し「～を持つ／身につける、～がある／いる」といった意味で用いられる動詞も数多い。

また、フォーマルな表現とは言い難いが、いわゆる二重主語文（「AはBがCである」）によって、所有と同内容の表現をすることもできる。

存在表現については、もっとも基本的な語は *ada*「ある／いる」である。ただし、フォーマルな文体ではしばしば「ある／いる」に相当する別の語を用いる。会話では、所有に準ずる表現として *ada* を用いるケースもある。

以下に、アンケートの項目にしたがって、対応するインドネシア語の表現を示し、必要に応じて解説を加えていく<sup>1</sup>。

## 2. インドネシア語データ

## 2.1. 所有・存在の表現

(1) あの人は青い目をしている。／青い目の人・目が青い人

[1a] Orang itu mempunyai / memiliki mata (yang) biru.<sup>2</sup>  
 person that possess eye REL blue  
 「あの人は青い目をしている。」

[1b] Orang itu punya mata (yang) biru.  
 person that possess eye REL blue 「あの人は青い目をしている。」

<sup>1</sup> 本稿におけるインドネシア語データのチェックについては、Elyzabeth Esther Fibra Simarmata 氏（本学大学院博士後期課程在学）に協力をお願いした。同氏に感謝の意を表したい。

<sup>2</sup> 本稿では、文例中の“/”（斜線）はその前後の語が入れ替え可能であることを示し、括弧内の語は省略可能であることを示す。

[1a] はフォーマルな文体で, mata (yang) biru の他に mata yang berwarna biru (berwarna 「～色をしている, 色つきの」) も可能である. [1b] は会話的な表現である.

[1c] Orang itu bermata biru.  
 person that BER-eye blue 「あの人は青い目をしている。」

[1c] の bermata 「目がある, (～の／～という) 目をしている」は mata 「目」に接頭辞 ber- を伴っている<sup>3</sup>.

[1d] Orang itu matanya (berwarna) biru.  
 person that eye-DET BER-color blue 「あの人は目が青い。」

[1d] は「AはBがCである」という, いわゆる二重主語文である. 二重主語文はフォーマルな文体とは言い難いが, 会話では頻繁に用いられ, また実際にはフォーマルな文体の中でもしばしば用いられている.

[1e] Mata orang itu (berwarna) biru.  
 eye person that BER-color blue 「あの人の目は青い。」

[1e] のように「あの人の目は青い (青色をしている)」という表現も可能である.

[1f] orang yang mempunyai / memiliki / punya mata biru  
 person REL possess eye blue

[1g] orang yang bermata biru  
 person REL BER-eye blue

[1h] orang yang matanya (berwarna) biru  
 person REL eye-DET BER-color blue

[1f] ～ [1h] は「青い目をした人」という名詞句で, [1f] は [1a] 及び [1b] に, [1g] は

<sup>3</sup> 本稿では, 「所有」を表す ber- 派生語の gloss を “BER-xxxxx” (xxxxx は基語の語意) と表記する.

[1c] に, [1h] は [1d] にそれぞれ対応する<sup>4</sup>. いずれも被修飾語の後に関係詞 *yang* を用いている<sup>5</sup>.

(2) あの女 {は／の} 髪が長い・あの女は長い髪をしている. / 長い髪の女・髪の長い女

[2a] Wanita itu mempunyai / memiliki / punya rambut (yang) panjang.  
 woman that possess hair REL long  
 「あの女性は長い髪をしている。」

[2b] Wanita itu berambut panjang.  
 woman that BER-hair long 「あの女性は長い髪をしている。」

[2c] Wanita itu rambutnya panjang.  
 woman that hair-DET long 「あの女性は髪が長い。」

[2d] Rambut wanita itu panjang.  
 hair woman that long 「あの女性の髪は長い。」

(3) あの人には髭がある. / 髭の男

[3a] Orang itu mempunyai / memiliki / punya kumis.  
 person that possess mustache 「あの人は口髭がある。」

[3b] Orang itu berkumis.  
 person that BER-mustache 「あの人は口髭がある。」

[3c] Orang itu memakai / pakai kumis.  
 person that use mustache 「あの人は口髭がある。」

「髭がある」と言う場合には, [3c] のように「使う」に相当する語を用いることも可能である. フォーマルな文体では *memakai* を用いるのに対し, *pakai* は会話的である.

<sup>4</sup> [1a] と [1b] のように文体による違いがあっても, 説明に差し障りがない場合には, これ以降は [1f] のように *mempunyai*, *memiliki*, *punya* を1つの文例の中にまとめて記載する.

<sup>5</sup> 次節以降, 特筆すべき語法がある場合を除き, [1f] ~ [1h] のように関係詞 *yang* を用いる名詞句は省略する.

[3d] Orang itu ada kumisnya.  
 person that exist mustache-DET 「あの人は口髭がある。」

[3e] Orang itu ada kumis.  
 person that exist mustache 「あの人は口髭がある。」

[3d], [3e] のように, *ada* 「ある, いる」を用いた表現も可能である. いずれも会話的な表現だが, [3e] はより会話的である.

(4) あの人には (見る) 目がある. / 見る目のある人

[4a] Orang itu pandai menilai orang lain.  
 person that clever evaluate person other  
 「あの人は他人を評価するのがうまい。」

「見る目がある」に相当する慣用的表現は見当たらず, 同じ内容を表現するには [4a] のような言い方になるようである.

(5) あの人は 22 歳だ. / 22 歳の人

[5a] Orang itu berusia 22 tahun.  
 person that BER-age year 「あの人は 22 歳だ。」

[5b] Orang itu usianya 22 tahun.  
 person that age-DET year 「あの人は年齢が 22 歳だ。」

[5c] Orang itu mempunyai / memiliki / punya usia panjang.  
 person that possess age long 「あの人は長寿だ。」

年齢を述べる場合, *mempunyai / memiliki / punya* を用いることができない. 但し, [5c] のように *usia panjang* 「長寿」に対しては用いることができる.

(6) あの人は優しい性格だ. / 優しい性格の人

[6a] Orang itu berwatak / bersifat baik.  
person that BER-character / BER-nature good 「あの人は優しい性格をしている。」

[6b] Orang itu berhati baik.  
person that BER-heart good 「あの人は優しい性格をしている。」

[6c] Orang itu wataknya / sifatnya / hatinya baik.  
person that character-DET / nature-DET / heart-DET good  
「あの人は性格 / 心が優しい。」

[6d] Orang itu baik hati.  
person that good heart 「あの人は優しい。」

[6d] で baik hati 「優しい, 性格がよい」は熟語である。

[6e] Orang itu mempunyai / memiliki / punya hati yang baik.  
person that possess heart REL good  
「あの人は優しい / 良い性格をしている。」

[6e] で yang を用いないのは不自然である。

(7) あの人は背が高い. / 背の高い人

[7a] Orang itu tinggi.  
person that high 「あの人は (背が) 高い。」

[7b] Orang itu berbadan tinggi.  
person that BER-body high 「あの人は高い体 (=背) をしている。」

[7c] Orang itu badannya tinggi.  
person that body-DET high 「あの人は体 (=背) が高い。」

[7d] Orang itu mempunyai / memiliki / punya badan (yang) tinggi.  
 person that possess body REL good  
 「あの人は高い体 (=背) をしている。」

(8) あの人は背が 190 センチもある。

[8a] Orang itu tingginya 190cm.  
 person that high-DET 「あの人は高さが 190 センチだ。」

[8b] Orang itu tinggi badannya 190 cm.  
 person that high body-DET 「あの人は身長が 190 センチだ。」

[8c] Tinggi badan orang itu (adalah) 190 cm.  
 high body person that COP  
 「あの人の身長は 190 センチだ。」

tinggi badan は「身長」の意となる ([8b], [8c]).

(9) その石は四角い形をしている。 / 四角い (形の) 石

[9a] Batu itu berbentuk persegi.  
 stone that BER-form square 「その石は四角形だ。」

[9b] Batu itu bentuknya persegi.  
 stone that form-DET square 「その石は形が四角だ。」

[9c] Batu itu mempunyai / memiliki / punya bentuk persegi.  
 stone that possess form square  
 「その石は四角い形をしている。」

[9c] の bentuk persegi 「四角形」に対しては, persegi の前に関係詞 yang を用いることができない。これは, 一般に yang 節が名詞句を伴うことがないためである。

[9d] Bentuk batu itu (adalah) persegi.  
 form stone that COP square 「その石の形は四角だ。」

[9e] Buku itu mahal.  
book that expensive 「その本は高価だ。」

[9f] Buku itu berharga mahal.  
book that BER-price expensive 「その本は高価だ。」

[9g] Buku itu harganya mahal.  
book that price-DET expensive 「その本は値段が高い。」

[9h] Buku itu mempunyai / memiliki / punya harga yang mahal.  
book that possess price REL expensive  
「その本は値段が高い。」

[9h] の harga yang mahal については, yang を伴わないと, mempunyai / memiliki を用いてもフォーマルさにおいて容認度が下がる.

(10) あの人には才能がある. / 才能のある人【属性】

[10a] Orang itu berbakat.  
person that BER-talent 「あの人は才能がある。」

[10b] Orang itu mempunyai / memiliki / punya bakat.  
person that possess talent 「あの人は才能がある。」

[10c] Orang itu ada bakat / bakatnya.  
person that exist talent / talent-DET 「あの人は才能がある。」

[3d], [3e] などと同様, [10c] は会話的である.

(11) あの人は病気だ. / あの人は熱がある. / 病気の人

[11a] Orang itu sakit.  
person that sick 「あの人は病気だ。」

[11b] Orang itu menderit<sub>a</sub> sakit.  
 person that suffer sick 「あの人は病気を患っている。」

[11c] Orang itu mempuny<sub>ai</sub> / memilik<sub>i</sub> / punya sakit.  
 person that possess sick  
 「あの人は病気を患っている。」

sakit 「病気である, 痛い」は形容詞 (的) であるが, 「病気」のように名詞的な用い方をすることもある。[11b] のように menderit<sub>a</sub> 「患う」と共に用いればフォーマルな文体では差し支えないが, [11c] のように「所有する」の類と共に用いると, フォーマルさにおいて容認度が下がる。

[11d] Orang itu dem<sub>am</sub>.  
 person that feverish 「あの人は熱がある。」

[11d] の dem<sub>am</sub> 「熱がある」は, [11b] にみた menderit<sub>a</sub> と共に用いる場合でもフォーマルさにおいて容認度が下がるようである。

(12) あの人は青い服を着ている。 / 青い服の男

[12a] Orang itu berbaj<sub>u</sub> biru.  
 person that BER-garment blue 「あの人は青い服を着ている。」

[12b] Orang itu bajun<sub>y</sub>a biru.  
 person that garment-DET blue 「あの人は服が青い。」

[12c] Orang itu memak<sub>ai</sub> / pak<sub>ai</sub> baj<sub>u</sub> biru.  
 person that use garment blue 「あの人は青い服を着ている。」

[12c] の memak<sub>ai</sub> は, 「使う」の他に 「(衣服などを) 身につける」の意でも用いる語である。[3c] などと同様に pak<sub>ai</sub> は会話的である。



(13) あの人はメガネをかけている。 /メガネの男

[13a] Orang itu berkacamata.  
person that BER-glasses 「あの人はメガネをかけている。」

[13b] Orang itu memakai / pakai kacamata.  
person that use glasses 「あの人はメガネをかけている。」

(14) あの人には妻がいる。 /既婚の人・妻のいる人

[14a] Orang itu sudah beristri.  
person that PERF BER-wife 「あの人にはもう妻がいる。」

[14b] Orang itu sudah mempunyai / memiliki / punya istri.  
person that PERF possess wife  
「あの人にはもう妻がいる。」

[14c] Orang itu sudah ada istri / istrinya.  
person that PERF exist wife / wife-DET 「あの人にはもう妻がいる。」

(15) あの人には3人子供がいる。 /3人の子持ちの人・あの人の3人の子供 /妊娠している女性

[15a] Orang itu beranak tiga (orang).  
person that BER-child three CLF 「あの人には3人子どもがいる。」

[15b] Orang itu mempunyai / memiliki / punya tiga (orang) anak.  
person that possess three CLF child  
「あの人には3人子どもがいる。」

[15c] Orang itu anaknya tiga (orang).  
person that child-DET three CLF 「あの人は子どもが3人だ。」

[15d] tiga (orang) anak (dari) orang itu  
three CLF child from person that 「あの人の3人子ども」

被修飾語が後続の修飾語に属しているという関係を表す場合に、とりわけフォーマルな文ではしばしば前置詞 *dari* を用いる。

[15e] wanita yang (sedang) hamil  
 woman REL PROG pregnant 「妊娠している女性」

[15f] wanita yang (sedang) mengandung  
 woman REL PROG contain 「妊娠している女性」

「妊娠している」は *hamil* または *mengandung* という語を用いるのみである ([15e], [15f]).

(16) タコには足が 8 本ある。

[16a] Gurita (itu) berkaki delapan.  
 octopus that BER-leg eight 「タコは 8 本足である」

[16b] Gurita (itu) mempunyai / memiliki / punya delapan kaki.  
 octopus that possess eight leg  
 「タコは 8 本足である。」

[16c] Gurita (itu) kakinya delapan.  
 octopus that leg-DET eight 「タコは足が 8 本だ。」

指示代名詞 *itu* は総称的 (「～というもの (は)」) に述べる際にも用いられる ([16a]～[16c]).

(17) その飲み物にはアルコールが入っている。 / アルコール入りの飲み物

[17a] Minuman itu mengandung alkohol.  
 beverage that contain alcohol  
 「その飲み物はアルコールを含んでいる。」

[17b] Minuman itu beralkohol.  
 beverage that BER-alcohol 「その飲み物はアルコール入りだ。」

[17c] minuman beralkohol  
 beverage BER-alcohol 「アルコール入りの飲み物」

ber- 派生語は、語によってしばしば関係詞 yang を伴わず修飾語として用いられる。  
 [17c] の場合、minuman yang beralkohol は容認度が低いようだ。

(18) あの人はお金を持っている。／お金持ちの人

[18a] Orang itu mempunyai / memiliki / punya (banyak) uang.  
 person that possess many money  
 「あの人はお金を (たくさん) 持っている。」

数量を示す語は、[18a] のように先に述べるのが語順の基本である。ただし実際には、とりわけ会話で uang banyak とも言う。

[18b] Orang itu ada (banyak) uang.  
 person that exist many money 「あの人はお金が (たくさん) ある。」

[18c] Orang itu uangnya banyak.  
 person that money-DET many 「あの人はお金がたくさんある。」

[18d] Orang itu banyak uangnya.  
 person that many money-DET 「あの人はお金がたくさんある。」

[18b] ～ [18d] は会話的である。[18c] が「AはBがCである」という語順であるのに対し、[18d] は「AはCである、Bが」という語順と解釈できる。

(19) おまえのところには犬がいるか？／犬のいる人

[19a] Di rumah kamu ada anjing?  
 at house 2SG exist dog 「おまえの家には犬がいるか？」

[19b] Ada anjing di rumah kamu?  
 exist dog at house 2SG 「おまえの家に犬がいるか？」

[19c] Kamu memelihara anjing di rumah?  
 2SG take care dog at house 「おまえは家で犬を飼っているか？」

[19d] Kamu punya anjing di rumah?  
 2SG possess dog at house 「おまえは家に犬がいるか？」

[19e] Kamu ada anjing di rumah?  
 2SG exist dog at house 「おまえは家に犬がいるか？」

[19d] はやや会話的, [19e] は会話的である.

(20) おまえはペンを持っているか? / ペンを持っている人

[20a] Kamu membawa / bawa pulpen (kamu sendiri)?  
 2SG carry pen yourself  
 「おまえは (自分の) ペンを持って (きて) いるか？」

[20b] Anda mempunyai / memiliki / punya pulpen (Anda sendiri)?  
 2SG possess pen yourself  
 「あなたは (自分の) ペンを持っていますか？」

[20a] は手元にあるかどうかを, [20b] は所有として持っているかどうかを尋ねることになる.

[20c] Kamu ada pulpen (kamu sendiri)?  
 2SG exist pen yourself 「おまえは (自分の) ペンがあるか？」

(21) あの人は (誰か別の人の) ペンを持っている.

[21a] Orang itu membawa pulpen orang lain.  
 person that carry pen person other  
 「あの人は他人のペンを持っている」

[21b] Orang itu memegang pulpen orang lain.  
 person that hold pen person other  
 「あの人は他人のペンを手に持っている」

[21c] Orang itu menyimpan pulpen orang lain.  
 person that store pen person other  
 「あの人は他人のペンをしまっている」

mempunyai / memiliki / punya は所有物として持っていることを表し、他人のものを手に持っていることを意味しない。そのため [21a] ~ [21c] などのように別の動詞を用いることになる。

(22) あの人は運がいい。 / 幸運な人 / 私に良い考えがある。

[22a] Orang itu beruntung.  
 person that BER.luck 「あのひとは運が良い。」

[22b] Orang itu untung.  
 person that luck 「あのひとは運が良い。」

untung は基本的に名詞だが、会話では [22b] のように接頭辞 ber- を伴わずに「運が良い」という意味でよく用いられる。

[22c] Orang itu mempunyai / memiliki / punya untung.  
 person that possess luck 「あの人は運が良い。」

untung については、ada を用いた \*Orang itu ada untung(-nya). のような言い方はできない。

[22d] Saya mempunyai / memiliki / punya ide bagus.  
 1SG possess idea nice 「私は良い考えがある。」

[22e] Saya ada ide bagus.  
 1SG exist idea nice 「私は良い考えがある。」

(23) ここは石が多い. / 石の多い土地

[23a] Di daerah ini terdapat banyak batu.  
 at region this can be found many stone  
 「この地域には石がたくさんある。」

[23a] の terdapat はもともと「見受けられる」といった意味だが、フォーマルな文体で「ある／いる」を表す際によく用いられる。

[23b] Di daerah ini ada banyak batu.  
 at region this exist many stone 「この地域には石がたくさんある。」

[23c] Di daerah ini banyak batu.  
 at region this many stone 「この地域には石がたくさんある。」

banyak は単独で「たくさんある／たくさんいる」のように存在を表す述語として機能する ([23c]). しかし, [23b] のように ada を伴う表現もしばしば見受けられる。

[23d] Di daerah yang banyak batunya  
 at region REL many stone-DET 「石の多い地域」

[23e] daerah tempat terdapat banyak batu  
 region place can be found many stone 「石が多くある地域」

[23f] daerah di mana terdapat banyak batu  
 region at where can be found many stone 「石が多くある地域」

関係詞 yang を用いる際には、先行詞と yang に後続する部分とが「主語－述語」の関係になっている必要がある。そのような関係ではない場合、場所を表す際には tempat (直訳「場所」) あるいは di mana (直訳「どこで」) を関係副詞のごとく用いる。di mana は標準インドネシア語としては容認度が低い、実際には多用されている。

(24) その部屋には椅子が 3 つある / 3 つ椅子のある部屋 / 3 つの椅子

[24a] Di kamar itu terdapat tiga (buah) kursi.  
at room that can be found three CLF chair  
「その部屋には椅子が 3 つある。」

[24b] Di kamar itu ada tiga (buah) kursi.  
at room that exist three CLF chair  
「その部屋には椅子が 3 つある。」

[24c] kamar dengan tiga (buah) kursi.  
room with three CLF chair 「椅子が 3 つある部屋」

dengan (「〜と」) を用いた [24c] はフォーマルな表現である。kamar yang tiga (buah) kursi は標準インドネシア語では不可とされるが、会話では用いられる。

(25) テーブルの上にスプーンがある。 / スプーンのあるテーブル

[25a] Terdapat sendok di atas meja itu.  
can be found spoon at upper side table that  
「そのテーブルの上にスプーンがある。」

[25b] Ada sendok di atas meja itu  
exist spoon at upper side table that  
「そのテーブルの上にスプーンがある。」

[25c] Di atas meja itu terdapat / ada sendok.  
at upper side table that can be found / exist spoon  
「そのテーブルの上にはスプーンがある。」

存在が新情報である場合、ada / terdapat の後に存在する事物が続き、ひとつのフレーズを形成する。

[25d] meja yang ada sendoknya  
table REL exist spoon-DET 「スプーンのあるテーブル」

[25d] は「BがCであるA」という構造と解釈される。

(26) そのスプーンはテーブルの上にある。 / テーブルにあるスプーン

[26a] Sendok itu terdapat di atas meja makan.  
 spoon that can be found at upper side dining table  
 「そのスプーンは食卓の上にある。」

[26b] Sendok itu ada di atas meja makan.  
 spoon that exist at upper side dining table  
 「そのスプーンは食卓の上にある。」

存在ではなく場所が新情報の場合、存在する事物がいわゆる主語として独立したフレーズを形成し、terdapat / ada 以降が述語として対応する。

[26c] sendok yang ada di atas meja makan.  
 spoon REL exist at upper side dining table 「食卓の上にあるスプーン」

(27) そのペンは私のだ。・そのペンは太郎のだ。 / 私のペン・太郎のペン

[27a] Pulpen itu milik / kepunyaan saya / Taro.  
 pen that possession 1SG / NAME 「そのペンは私 / 太郎のだ。」

[27b] Pulpen itu punya saya / Taro.  
 pen that possession 1SG / NAME 「そのペンは私 / 太郎のだ。」

punya は「所有する / している」という動作（またはプロセス）を表す語だが、[27b] のように会話ではしばしば「所有（物）」の意味で用いられる。

[27c] pulpen saya / Taro  
 pen 1SG / NAME 「私 / 太郎のペン」

[27d] pulpen milik / kepunyaan saya / Taro  
 pen possession 1SG / NAME 「私 / 太郎のペン」



所有者を表す場合には、基本的に [27c] のように所有者を直接続けるか、[27d] のように「所有(物)」を意味する *milik / kepunyaan* を用いて「私／太郎の所有物であるペン」のように言う。なお、会話では「私のペン」を *saya punya pulpen* のように言うこともある。

(28) 昨日、学校で火事があった。／私は明日用事があります。

[28a] *Kebakaran terjadi di sekolah kemarin.*  
*fire happen at school yesterday* 「昨日学校で火事が起こった。」

[28b] *Terjadi kebakaran di sekolah kemarin.*  
*happen fire at school yesterday* 「昨日学校で火事が起こった。」

[28c] *Ada kebakaran di sekolah kemarin.*  
*exist fire at school yesterday* 「昨日学校で火事があった。」

「できごとの生起」を表す最も一般的な語は *terjadi* ([28a], [28b]) だが、とりわけ会話では *ada* 「ある／いる」を用いることもしばしばである。

[28d] *Saya mempunyai / punya urusan besok.*  
*1SG possess matter tomorrow* 「私は明日用事がある。」

[28e] *Saya ada urusan besok.*  
*1SG exist matter tomorrow* 「私は明日用事がある。」

「用事がある」は「用事を持つ」([28c]) あるいは「用事がある」([28d]) のように言う(ただし [28d] の *punya* や [28e] は会話的表現)。

(29) (この世には) お化けなんていない。

[29a] *Di dunia ini tidak ada hantu.*  
*at world this not exist ghost* 「この世にはお化けはいない。」

[29b] Hantu itu tidak ada di dunia ini  
ghost that not exist at world this

「お化け（というもの）はこの世にいない。」

[29b] は標準インドネシア語としては容認度がやや下がる。

(30) (そこには) 英語を話す人もいるが、話さない人もいる。

[30a] Ada yang bisa berbahasa Inggris, ada (juga) yang tidak.  
exist REL can BER-language England exist also REL not

「英語ができる人もいれば、そうでない人もいる。」

「Aする人もいればBする人もいる」という表現は、Ada yang A, (dan) ada (juga) yang B のパターンが一般的である。なお、[30a]の後半部分は、「Aしない人」なので、yang の後に否定語 tidak を用いるのみとなっている。

(31) 私より英語ができる人は（ほかに／もっと）います。

[31a] Masih ada lagi (orang) yang lebih pintar berbahasa  
still exist also person REL more clever BER-language  
Inggris daripada saya.  
England than 1SG

「私よりも英語を用いるのがうまい人はまださらにいる。」

[31b] Banyak lagi (orang) yang lebih pintar berbahasa  
many also person REL more clever BER-language  
Inggris daripada saya.  
England than 1SG

「私よりも英語を用いるのがうまい人はさらにたくさんいる。」

[31b] の banyak は「たくさんある／いる」のように ada を用いることなく単独で存在を表す述語として成立する ([23c] 参照)。

(32) ちょっとあなたにお願いがあります.

[32a] Saya mau minta tolong kepada Anda.  
1SG want ask for help to 2SG

「私はあなたに手伝いをお願いしたい。」

「お願いがある」という意図は、一般的には [32a] のように「手伝いを頼む」という表現を用いる.

## 2.2. 句の所有構造

(33) 冬の雨【時間】，東京の家【場所】

[33a] hujan pada / di musim dingin  
rain at / at season cold 「冬の雨」

[33b] hujan musim dingin  
rain season cold 「冬の雨」

[33c] rumah di Tokyo  
house at Tokyo

「冬の雨」と言う場合，[33a] [33b] のように時を表す前置詞 *di / pada* を用いても，用いなくても表現することができる．一方 [33c] のように，場所を示す語を修飾語として直接続けることはできず，前置詞 *di* を用いなければならない．

(34) 彼の泳ぎ／犬の鳴き声／火山の爆発【Bが行為を示す名詞である場合の主体】，車の運転【Bが行為を示す名詞である場合の客体／対象】，～の小説【Aの生産物であるB】

[34a] gaya / cara / penampilan renang  
style / manner / performance swimming-3SG 「彼(女)の泳ぎ方」

「泳ぎ」に相当する表現は，[34a] のように *gaya / cara / penampilan* 等の語を伴って「泳ぎ方」といった表現にする必要がある．

[34b] gonggongan anjing  
barking dog 「犬の鳴き声」

[34c] letusan gunung berapi  
eruption mountain volcanic 「火山の爆発」

[34b] の gonggongan や [34c] の letusan は、いずれも名詞を形成する接尾辞 -an を伴っている。

[34d] cara menyetir mobil  
manner drive car 「自動車の運転 (の仕方)」

[34e] penyetiran mobil  
driving car 「自動車の運転」

[34d] は「自動車の運転の仕方」、[34e] は「自動車を運転するという行為」を表す。実際には [34e] は使用できる状況が限られると思われる。

[34f] novel Pramoedya  
novel NAME 「プラムディアの小説」

[34g] novel karangan Pramoedya  
novel piece of writing NAME 「プラムディアの小説」

「Bの作品であるA」は、[34f] のように作者を作品に直接続けることで表現することもできるが、よりフォーマルには「作ったもの」に相当する語を用い、同格の句を修飾語とする。[34g] は、直訳的に述べると「プラムディアが書いたものである小説」といった表現である。

(35) Xさん (固有名詞) のお母さん【親族】、机の横に/机の前に/\*机に (来て!)【場所名詞】、あの人の次【時間的關係】

[35a] ibu saya  
mother 1SG 「私の母」

[35b] ibu dari Ade  
mother from NAME 「アデの母親」

[35c] ibunya Ade  
mother-DET NAME 「アデの母親」

親族関係を表す場合、「AのB」の「A」が代名詞のみであれば、一般的にそのまま続ける ([35a])。固有名詞あるいは一般名詞を含む場合には、[35a] の修飾形式も可能だが、フォーマルな文体ではしばしば前置詞 *dari* を伴う ([35b])。また会話では、*-nya* を用いる表現が一般的となっている ([35c])。

[35d] di samping meja  
at side desk 「机の横に」

[35e] di depan meja  
at front desk 「机の前に」

[35f] Datanglah pada meja  
come-PTCL at desk 「机のところに来て！」

位置関係を述べるには、[35d] や [35e] のように「横」や「前」など具体的な位置を表す語を前置詞 *di* に続けて用いる。[35f] のように具体的な位置関係を用いずに「～のところへ」と述べる場合には、前置詞 *pada* を用いることにより表現が可能となる。

[35g] giliran berikutnya  
turn following-DET 「次の順番」

[35h] giliran berikutnya sesudah orang itu  
turn following-DET after person that 「あの人の次の順番」

「あの人の次」に相当する表現は、[35h] のような言い方をせざるを得ないようである。

- (36) バラの花びら【種別】，果物のナイフ【用途】，紙の飛行機【材料・材質】，チューリップの絵【内容】，花の匂い【産出物】，英文の手紙【表現形式(?)】，日本語の先生【職種】，井戸の水【取得源】，雨の日【状況】

[36a] daun makhkota (dari) bunga mawar  
petal from flower rose 「バラの花びら」

[36b] pisau untuk buah-buahan  
knife for fruits 「果物のナイフ」

pisau buah-buahan は会話的で容認度が低く，用途を表すには前置詞 *untuk* を用いる。

[36c] pesawat terbang dari kertas  
airplane from paper 「紙の飛行機」

- [36c] は，被修飾語が2語であるため前置詞 *dari* が必要になると思われる。被修飾語が1語であれば，*dari* がなくてもよさそうである（例：perahu kertas 「紙の船」）

[36d] gambar bunga tulip  
picture flower tulip 「チューリップの花の絵」

[36e] bau bunga (yang harum)  
smell flower REL aromatic 「花の匂い」

[36f] surat dalam bahasa Inggris  
letter in language England 「英語の手紙」

「〇〇語の／〇〇語で書かれている」と言う場合，一般的に前置詞 *dalam* を用いる。

[36g] guru bahasa Jepang  
teacher language Japan 「日本語の先生」

[36h] air (dari) sumur  
water from well 「井戸の水」

[36i] hari hujan  
 day rain 「雨の日」

天候を表す場合、語によって修飾の仕方が異なるようである。hujan「雨」は一般に名詞(的)であり、関係詞 yang を用いた hari yang hujan は不自然である。一方, cerah「晴れている」や mendung「曇っている」は一般に形容詞(的)であり, hari yang cerah あるいは hari yang mendung のように yang を伴う用例の方が多く見受けられる。

(37) 妹の花子／社長の田中さん 【同格】

[37a] Hanako, adik saya  
 NAME younger brother/sister 1SG 「私の妹である花子」

[37b] adik saya, Hanako  
 younger brother/sister 1SG NAME 「私の妹の花子」

同格を表す「の」に相当する語がないため、「AであるB」や「A B」という表現とまる ([37a], [37b] : [37d], [37e] も同様)。

[37c] adik saya yang bernama Hanako  
 younger brother/sister 1SG REL BER-name NAME 「花子という名の私の妹」

[37d] direktur kami, Bapak Tanaka  
 managing director 1PL.EXCL TTL NAME 「私どもの社長の田中(氏)」

[37e] Bapak Tanaka, direktur kami  
 TTL NAME managing director 1PL.EXCL 「私どもの社長である田中(氏)」

[37f] Bapak Tanaka yang merupakan direktur kami  
 TTL NAME REL constitute managing director 1PL.EXCL  
 「私どもの社長である田中(氏)」

[37f] の merupakan は、語構成としては「～を形作る」といった意味であるが、フォーマルな文章ではコンピュータのごとく用いられる。

(38) となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ (が昨日突然パンクしたんだって。) 【属格の連続使用】

[38a] ban mobil milik ayah teman yang tinggal di rumah sebelah  
 tire car possession father friend REL live at house next

「となりの家の友達のお父さんの車のタイヤ」

属格の連続使用は、一般に日本語ほどの自由がきかない。上記の例では、とりわけ「隣の家の (友達)」は場所を示すため、少なくとも前置詞 *di* が必要となる ([33c] 参照)。

略語

1PL	1st person plural	EXCL	exclusive
1SG	1st person singular	NAME	proper name
2SG	2nd person singular	PERF	perfective
3SG	3rd person singular	PROG	progressive
CLF	classifier	PTCL	particle
COP	copula	REL	relative
DET	determiner	TTL	title